

## 事務事業評価表（建設事業等）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	道路新設改良事業			コード	14107	
2 担当部課	部等	建設水道部	課等	土木課	作成者	柄澤 隆司
3 事業概要	目的体系	基本目標	快適な生活を支え、住み続けたいまち			
		政策	都市基盤の整備	施策	幹線道路と交通網の整備	
		予算科目	土木管理事務費／道水路等整備事業費	業務委託	一部委託	
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり	

## ●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	* 対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	市道の新設改良の実施		
目的	対象者	市民	
	意図	市道の安全性と利便性の向上を図る	

5 事業の必要性	* 事業を計画した当時、この事業が必要になった状況・理由		
幅員4m以上の市道（生活道路）整備を基本に、道路の拡幅、交差点改良、道路側溝及び水路等の排水施設整備、舗装の改修などの工事を実施し、安全で快適な道路環境整備を図る。 また、地区及び市民の要望等もふまえ、地域の課題解決のため地区と協議しながら、きめ細かい整備を図る。			

6 事業の全体計画	* 各年度の取組計画			
予定全体事業費	3,800,000,000	円	事業期間	H16年度～H30年度
予定全体事業費	1,000,000,000	円	事業期間	R元年度～R5年度
29年度	道路新設改良工事 531箇所			
30年度まで	道路新設改良工事 59箇所（地域の主要路線整備箇所、道路後退整備 16箇所、交通安全施設整備	3箇所、	溢水対策 5箇所、	道路改良 20箇所）
元年度	道路新設改良工事 56箇所（地域の主要路線整備箇所、道路後退整備 14箇所、交通安全施設整備	2箇所、	溢水対策 4箇所、	道路改良 27箇所、
		7箇所、	測量設計 2箇所）	
2年度以降	道路新設改良工事 46箇所（地域の主要路線整備箇所、道路後退整備 11箇所、交通安全施設整備	2箇所、	溢水対策 7箇所、	道路改良 18箇所、
		5箇所、	測量設計 3箇所）	

7 事業の実施内容	* 各年度の進捗状況			
29年度	道路新設改良工事 531箇所			
30年度まで	道路新設改良工事 59箇所（地域の主要路線整備箇所、道路後退整備 16箇所、交通安全施設整備	3箇所、	溢水対策 5箇所、	道路改良 20箇所） 予定事業の実施が完了。
元年度	道路新設改良工事 56箇所（地域の主要路線整備箇所、道路後退整備 14箇所、交通安全施設整備	2箇所、	溢水対策 4箇所、	道路改良 27箇所、
		7箇所、	測量設計 2箇所） 第5次総合計画等の推進に向け、新たに計画的整備等を進める。	
前年度の課題への対応	道路構造物の破損等が目立ってきており、地域の要望も多いため、現場の現状把握を強化しながら、計画的整備を進める。			

## 8 コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度まで(累計)	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	3,571,565,799	324,429,711	199,001,283	168,408,000
経常経費	3,571,565,799	324,429,711	199,001,283	168,408,000
臨時的経費				
* 臨時的経費の説明				
② 人件費		28,000,000	28,000,000	28,000,000
正規職員の人数(人)		3.50	3.50	3.50
③ 合計コスト(①+②)	3,571,565,799	352,429,711	227,001,283	196,408,000
前年度比			64.4%	86.5%
財源				
一般財源	3,175,134,799	200,085,711	51,426,283	30,138,000
内訳				
特定財源	396,431,000	152,344,000	175,575,000	166,270,000
* 特定財源の説明	社会資本整備総合交付金、起債			

## ●事業の評価 (CHECK)

### 9 事業の進捗状況

区分	29年度まで(累計)	30年度	元年度	2年度(予算)
進捗率				
直接事業費の執行率	94.0%	102.5%	19.9%	
その他の進捗率				
* その他の進捗率の説明				

事業をとりまく環境変化	今まで	<p>(これまでに生じた政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業に影響があったこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費が削減されるなか、各区からの要望書の内容を現場を確認しながら検討し、必要性に応じ箇所を決め、工事を実施し、最低限の安全確保と利便性向上をしている。</li> </ul>
	今後	<p>(2年度以降に予測される政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業の進行・完了に影響すると思われること)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要望箇所の整備率を上げるため、事業費の確保の実施。</li> <li>・事業費の財源確保についても積極的に努める。</li> <li>・生活道路における交通事故が増加しているため、今後さらに交通安全対策の推進を図る。</li> </ul>

## ●改善の内容 (ACTION)

### 10 今後の課題と対応策

今後の課題	<p>(環境変化を考慮して事業を進めていく上で、2年度以降に課題になること)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年の財政状況から事業費の大幅な縮減により、計画的に実施する工事箇所が減ってきている。</li> <li>・道水路等施設の老朽化が進んでおり、新設改良への投資から施設の更新、維持管理に予算を配分していく必要がある。</li> <li>・国の補助事業(社会資本整備総合交付金)の交付金の配当率が下がってきており、事業期間内に完了できなくなっている。</li> </ul>
課題への対応策	<p>(上記の課題をふまえて2年度に実施する、具体的な対応方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道水路等施設の老朽化が進んでいるため、新設改良から維持修繕に事業を転換してきているところであるが、市民からの要望も多いことから、要望内容を精査し、効率よく予算配分して、整備を実施する。</li> <li>・国の補助事業は、重点事業にならないと交付率が上がらないため、今後は、重点事業(交通安全等)に力をいれていく。</li> </ul>

## ●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	--	---